



鈴木 賢和

議員



資源ごみ分別に尽力
された市民への顕彰

問 資源ごみ分別などの活動に対する表彰実績と評価は。

答 現状、環境分野に特化した制度はないが、袋井市表彰条例や感謝状の贈呈に関する規定に基づき、環境保全分野全般にわたる貢献のほか、掃除などの善行活動に関わる個人や団体をたたえている。平成17年の合併以降は、一般財団法人月見の里振興会と同笠サーフィンクラブの2団体がその対象となっている。

問 新たな表彰制度の創設や既存の表彰制度の運用改善は。

答 長年にわたり地域の環境保全に尽力された方々の社会的な貢献をたたえるための表彰については、今後、検討してまいりたい。



地域での資源ごみ回収の様子

検案料などの負担問題とその支援

問 制度上の位置付けと市民からの相談件数は。

答 検案料は厚生労働省が示す目安を参考に各医療機関が設定しているもので、市が制度として位置付けているものではない。検案料を含めた火葬に係る費用の相談は、昨年度は19件、本年度12月末現在では12件あった。



高木 清隆

議員



放課後児童クラブと小学校の連携

問 小学校との連携に向けた仕組みづくりに向けては。

答 小学校の教職員が、子どもを中心に据えた支援方策や情報共有の重要性を認識する機会を設け、連携が図られる仕組みの具体化に向けて検討していきたい。

県立高校の在り方

問 市内3高校の存在意義は。

答 3校の存在は、多様な学びの選択肢を地域内に確保するものであり、地元への進学や就職を通じて、本市の活性化に貢献する人材を育成する重要な役割を担っている。



放課後児童クラブみなみげんきクラブの外観

関係人口との共創によるまちづくり

問 関係人口の拡大に向けた支援体制の構築は。

答 相談窓口や関係人口と地域双方のニーズをつなぎ、具体的な活動につなげる機能の整備は不可欠である。関係人口の創出に関連した施策を束ね、総合的に推進する「ブランド戦略課」を設置し、市長が先頭に立ち、関係人口との共創によるまちづくりを推進していきたい。

令和8年2月袋井市議会定例会 議決結果

下記5議案以外の29議案（全34議案）は、全員賛成でした。

○：賛成 ×：反対 △：棄権 -：欠席または除斥（議長(佐野武次)は、採決に参加しません。）

議案	議決結果	議決日	村松孝師	森岡弘記	夏目幸彦	兼子靖基	鈴木功三	金子晃久	安間亨	太田裕介	鈴木賢和	村井勝彦	佐野武次	高木清隆	八木伸太郎	立石泰広	村松和幸	木下正	近藤正美	大場正昭	山田貴子	高橋美博	
議第7号	令和8年度袋井市一般会計予算について	R8.3.24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第8号	令和8年度袋井市国民健康保険特別会計予算について	R8.3.24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第9号	令和8年度袋井市後期高齢者医療特別会計予算について	R8.3.24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第10号	令和8年度袋井市介護保険特別会計予算について	R8.3.24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第13号	令和8年度袋井市水道事業会計予算について	R8.3.24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×